

## 山口県道路懇談会（第2回）

### 議 事 録

と き : 平成27年 12月21日 14:00~  
と ころ : 山口県庁1階 視聴覚室

山口県土木建築部道路建設課

○司会

ただ今から、山口県道路懇談会（第2回）を開催いたします。それでは、懇談会の開催に当たり、山口県土木建築部次長の林より、御挨拶を申し上げます。

○土木建築部次長

改めまして、みなさんこんにちは。土木建築部次長の林と申します。第2回山口県道路懇談会の開催にあたりまして、一言御挨拶を申し上げます。委員の皆様方には、年末の慌ただしい時期に御出席を賜り、誠にありがとうございます。また、皆様方には平素から、本県の道路行政の推進につきまして、格別の御理解と御協力をいただき、重ねて御礼申し上げます。さて、第1回目の懇談会を、6月22日に開催し、早いもので半年が過ぎました。この間、道路整備計画の策定に向けまして、8月の末から、委員の皆様方にも御参加いただきまして、県下8地域で「山口県道路整備計画 出前ミーティング」を開催し、これまでの道路整備の課題や、今後の道路整備に望むことなど、県民の方々から直接御意見を伺うなど、取り組みを進めて参りました。この出前ミーティングや、これまで実施したアンケート等でいただきました道路整備に対する課題あるいは御要望を踏まえ、このたび、「山口県の道路整備計画」の素案を取りまとめたところでございます。本日の懇談会では、この素案の内容について御協議いただき、素案の確定へと今後進めてまいりたいと考えております。限られた時間で誠に申し訳ありませんが、委員の皆様方には、忌憚ない御意見・御提言をいただきますようお願いを申し上げ、簡単ではございますが、私の挨拶とさせていただきます。本日は、よろしくお願ひいたします。

○司会

ありがとうございました。続きまして、本日の資料の確認をしたいと思ひます。議事次第が1枚紙でありまして、右上に資料1という1枚紙、資料2としまして、また1枚紙。資料3ホチキス留めがありまして、資料3-1、資料4ホチキス留めがあります。資料ナンバーが無いものがホチキス留めで、①出前ミーティングでの主な意見のまとめがあろうかと思ひます。続きまして、資料5が1枚紙です。それと、資料6がホチキス留めで、参考資料1ホチキス留め、参考資料2ホチキス留め、参考資料3ホチキス留めです。もし不足分がありましたらお申しつけください。よろしいでしょうか。

本日は委員全11名のうち10名御出席いただいております。河崎委員につきましては、所により欠席されております。それでは、これから、議事に入りたいと思ひます。以降の議事進行につきましては、進士座長にお願ひいたします。よろしくお願ひします。

○進士座長

皆さんどうも、こんにちは。この年末、本当にお忙しい中、皆さんほぼ全員の委員に参加頂きまして第2回目の道路懇談会が開けるということで、大変ありがたいことと思っております。

ます。議事次第を見て頂くと、本日の議事は唯一、一件、山口県の道路整備計画の素案について、というのが議題でございます。それに対しまして、先ほど林部次長からも忌憚のない意見をということでございますので、是非委員の先生方の忌憚のない意見を賜って、山口県の道路行政がうまく円滑に動くように、御協力の程よろしく申し上げます。

それでは、事務局のほうから、早速ですが説明をいただいでよろしいでしょうか。よろしく申し上げます。

#### ○事務局

それでは説明をさせていただきます。本日の協議内容でございますが、山口県の道路整備計画（素案）についてということで、事務局のほうから、3つに分けてご説明させていただきます。まず1点目は、出前ミーティングについてということで、先ほどの林の挨拶にもありましたけども、8月末から9月の半ばにかけて、委員の皆様方にもご参加頂きまして開催した出前ミーティングについて説明させていただきます。

##### (1) 出前ミーティングについて

#### 出前ミーティングについて ～事務局による説明～

#### ○進士座長

ご質問もしくはご意見はありますでしょうか？

一番最後のまとめたものを出して頂くと、これから議論するのに良いかと、見ながらコメント頂ければどうかと思います。こういうまとめ方をされたという理由のひとつは、大体ミーティングを整理すると、ここに書いてありますように、道路そのものに関する意見と、その道路にまつわる事故とか救急に関する意見と、災害に関する意見と、維持管理に関する意見が、大きく4つに分けられて、整理できるという事で整理されたのかと思いますが、いかがでしょうか。

では、私からお伺いしますが、県の整備の進む時期というのと、やはり山陽側の方が整備が進んでいるという理解でよろしいですか。例えば柳井とか周南とか岩国とかいう所が維持管理に関して要望が大きいという事は、そこが先に県の中で道路整備が進んでいるから、その分だけ老朽化が進んでいるのかという見方をしたら、そうかと思った。それに関してはいかがですか。

#### ○事務局

やはり瀬戸内側、山陽側が、山口県でいいますと、工業地帯とかそういったもので発展してきた。そちらの方の整備というのは早くから始まって、これも先輩達の努力のおかげで、きちっとした道ができたのだらうという事で、早く出来たので、老朽化や維持管理に関して、そういったものが地域の問題として出てきているのではないかと推察されます。

○進士座長

ありがとうございます。何かこれに関しまして、よろしいですか。参加頂いた感想でも構いませんし、何かご意見はございませんか。

私も宇部・小野田の所に参加させて頂きましたが、話を聞いていると、個々のここをどうしてくれということが出てしまって。全体の行政の事を教えて頂きたいのですが、そういう意見もあったりして、少し気にはなっていました。こうやって整理して頂くと、山口県の中で何が一番問題なのかと見るのには良い整理かと思います。特に山陰側はやはり災害が。岩国は災害に関する不安が出ているのかと。また、先ほど言いましたように山陽側はどちらかという、我々の整備した時期が早かったので、維持管理に関する問題が出てきたのかという風に感じます。何かご意見ございますか。

○船崎委員

私が出させて頂いた、中山間のご意見も、という事でご配慮頂きまして、地域の方、中心部だけではなくて他の合併された市町村の方も来られていたという事がわかりました。ありがとうございます。私は今回こうやって数値で見せて、意見を聞いた時は定性データだったので、ご意見は一人ひとりの部分だったのですが、それを改めてまとめ直して頂いたの、なるほど地域性が出ているのだなというのがよくわかりましたし、たまたま来られた方がそういったご意見を持っておられました、やはりそれだけ伝えたいという思いでおいでになってらっしゃるので、直接意見を聞いた事は良かったと思います。ありがとうございます。

○進士座長

他にご意見はありますか？これだけ整理すると、何が一番問題なのかというのが分かりやすいです。

○船崎委員

子育て中のママはいらっしゃいましたか？

○事務局

山口市の方で、山口・防府地域の時にご参加頂いていました。

○船崎委員

良かったです。

○進士座長

多分同じ意見だと思うのですが、若干気になったのが、どうしても山陽側の意見が強く見えてしまうので、山陰側で聞かれている萩と長門は2箇所しかなかったの、そういう中山間地の情報とか、山陰側の情報がもう少しあっても良いかなと思います。どうしても事務所

の場所ですから、仕方がない所があるかと思いますが。

#### ○今井委員

会議の前にもお話したのですが、今、限界集落の近くとか、山陰だけではなく全県で結構ある意見だと思うのですが、管理ができなくなった道路というか、今すごく危険な所もあります。その危険だと思う所は近くの人たちが切っていらっしゃるのですが。私たち自身がこれまで、道路があってほしいと願って付いた道路ですが、実際少子化の中で道路が限界集落の所で、川をせきとめてしまうと色々あるのですが、それに対してどこが管理しているのか、どこが維持していくのか、地域で地元の老人クラブでやるのか、というのがわかりません。いま少子化の中でそのような使われなくなっている道路についてどういう方向性が出るのか、それが気になりました。それから私の地元でもそうですが、ひとたび災害が起こると大変な事になるという状況で、これまでの資料の中にも、災害に関して安全であってほしいという思いが色々な所から出ていると思うので、それをどうやって地域住民とやるのか、それからこれは災害等も含めると色々な箇所について管理がまたがる事だと思うのですが、そういう管理のまたがる所をどの風に具体的に仕組みを作っていくのかとか、そういうのを思います。

#### ○事務局

道路整備課の方で道路の維持管理の担当をしております。先ほどお話があったように、高齢化をして、人口も減っている、そういったところで、おそらく昔は地元の方がよく道路の草木を刈って頂いていた所がございました。ただ良くある話が、昔はやっていたのですが年を取ってなかなかできなくなってきたというお話も聞いております。我々道路管理者ですから、当然通行の安全確保をするための草刈りはさせて頂いております。ただ実態を申しますと、予算もどんどん厳しくなる中で、こういった事ができるかという事で、地域のボランティア、地元の個人ではなく、もう少し大きな、例えばシルバーさんとか地域の自治会等で、地域全体の草刈り等をして頂いた時に、道路にかかる部分については、一部ですが費用の方を援助させて頂くような制度を設けております。場所によっては、先ほどお話のあったように高齢化が進んで、なかなか厳しいという所もあるのですが、地域一帯で取り組んでおられて、年間で非常に大きい所は100万円くらいの補助を県からもさせて頂いております。そういった所については、例えば地域で集まってやる時に、お茶代とかお弁当代とか地域の自治会の費用に充てられるという事で、協力を頂いている所でございます。今後こういった取り組みといたしまして、こういった制度があるという事がなかなか浸透しておらない所もございますので、積極的に広報していったり、あと募集期間についても、現状は限らせて頂いているのですが、途中からもこういった活用して頂く事ができるよう、延ばすような取り組みをしている所でございます。以上です。

#### ○今井委員

しっかりPRして頂く方が良いですね。

## ○事務局

その辺は我々としても、課題として認識しておりますので、反省も踏まえて、広報に努めるように考えております。

## ○船崎委員

少し追加で。山口県の県民生活課が、社会貢献支援ネットというものを作っています。ボランティアで個人で登録したり、企業さんや団体や県庁職員のOBの方とか、県民が登録する事によって、ボランティアをしたい人と募集している所をネット上でマッチングできたり、そういう仕組みを作っています。まだ登録数が少ないので、そういう部分もボランティアをして頂きたい人だけではなく、そういった道路の関係で企業さんにも呼びかけて、ぜひ一緒にやりませんかという形で、登録して頂いて、募集をかけていくのが良いのではないかと考えております。これは県が作られた仕組みで、県民活動の方で動いていますので、ぜひ活用して頂けたらと考えていますので、その辺りをよろしくお願いします。

## ○進士座長

第1回目この委員会の意見の中に、山口県の道路の整備率が非常に低いというのがありますが、委員の皆さんとしては、「そんな事はない。非常に山口県は整備が良くできている」という意見が強かったです。これは結局何を言っているのかというと、山口県は非常にうまく道路整備をされて、必要な所に重点的に力を入れて整備されてきた。先程の話にもあったように我々の土木の先輩方が非常にうまく整備をされていて、重要な所は非常に力を入れて早めにやっているの、我々は結構動きやすい、他の県に比べると道路が整備されているように見える、整備が進んできているのです。ただそのかわり、整備の遅れている所が具体的に実際にあって、先ほどの今井先生がおっしゃったように、いざという時に困る事もありえるので、その辺りをこれからどうするのかというのが、多分、ボランティアの力を借りる等の、違う仕組みもこれから必要かと思えます。ひとつ思ったのですが、このアンケートを採られています、例えば5年後や10年後にまた採って頂いて、この辺がどう将来変わってくるのかという、そういう見方もしていくと、じゃあ、この地域のこういう意見が増えてきているとか、道路の維持管理がすごく増えてきていますよとか、そういう使い方でもできるだろうと思えます。これは意見を集めて今回の方針ができたらしおしまいという事ではなく、うまく定期的に採っていく中で、いま山口県の道路整備で何が一番問題なのかという、どこがいま問題とされつつあるのかという事を、事務局側も把握するという事を考えて頂くと、今回のアンケートが将来の役に立つのかなという気がします。是非その辺をまたご検討頂きたいです。

他に何かございますか。では次の一番重要な整備計画の素案をお願いします。

## (2) 整備計画素案について

### 山口県の道路整備計画（素案）について～事務局による説明～

## ○進士座長

ありがとうございます。大変丁寧に説明して頂きました。多岐に渡っておりますので、ご質問もしくはご意見はありますでしょうか？

## ○森委員

全体を通して前回、それから今回の市民から聞いた話で思ったのですが、一応懇談会という、意見を求めている訳ですね？今言われましたが、意見を言いやすい話というのも必要ではないかと思ひまして、今この状況で、個人的には市民の時も思ひましたが、今の様な説明があった時に、市民の皆さんが、ただずっと聞いていて、解ったのか解らないのかは解らないのですが、県の話ですと聞いていて結局それに関連するというよりは自分たちの生活の話等を皆言いましたという状況だったと思ひます。今日の話は丁寧に頂いたとは思ひますが、やはり委員の皆さんが、意見を言いやすいというか、そういったプレゼンの仕方をぜひ今後工夫して頂きたいという、個人的にはそういう要望があります。それは先ほどから言っているように、県民の皆様と信頼関係を構築する時に、今度何かを説明する時にこのような事だと、結局どういう事なのか分からないです。やはりそれは意志の疎通が必要だと思ひますので、県の方としては、こういう状況ですと説明するのは大事ですが、やはり意見の言いやすい資料・プレゼンする事をお願いしたいというように、まずひとつ思ひました。それを踏まえて、中身の方ですが、忌憚のない意見という事なので申し上げたいのですが。これは元々意見を求められた時に、重点的に、予算が削減されてきているので、重点的にかつ計画的にまちづくりを推進したいという事で、36 ページ等にまちづくりの進め方という事がありますね。まず1 つめに意見として申し上げたいのは、上位計画があるという事を言っていますが、いま都市計画を含めて、当然マスタープランとか色々な所で策定している訳ですが、例えばそういう所との整合性というのか、マスタープランの方でコンパクトシティ、コンパクトシティの定義も色々あるのですが、そういうコンパクトシティを目指しますと言っている所で、では道路の作り方はどうするのかという所が、県なり各自治体で整合性がとれないという事はないだろうかという、その辺の所をぜひ道路を、都市計画のひとつなので、そういう所を意識して確認してほしい。大丈夫だという事であれば良いですが、やはりそういう所を確認し合いながらやって頂きたいという要望です。それから 36、37 ページの所ですが、並列して書いていますが、果たしてそうなのか。道づくりの方策を重点的に1、2、3、4 と話がありましたが、これ以外の道路行政というのは何があるのですか？つまり全方位的に全部網羅してしまっていて、何が重点的なのか分からない。逆にこれ以外に道路の方策というか、役割は何かあるのか、やるべき行政というものはあるのか、という事を疑問に思ひましたので。これだと全部網羅してしまっていて、結局重要なのはわかるのですが、どのようにして県が進めていきたいのかという方策が果たして見えているのだろうかという疑問があります。それに関連して、1、2、3、4 と併記して書いてありますが、これはお互いの項目の関連性がある訳です。例えば渋滞対策の推進というのは非常に大事な事だと思ひていて、これは何かというと、生活道路に直結している訳です。つまり、今生活道路に車が流れて危ないという、これは全部ではないですが、特定の地域というのは、渋滞しているからそれを抜

けようとして生活道路に流れている訳ですね。そうすると因果関係として渋滞対策をバイパス整備などで推進した場合には、結果、生活道路の方から車が無くなって、そこが解消できるという因果関係、優先順位がある訳ですね。そういう所は考えていらっしゃるんですか。つまり優先順位を決めるとか重点的と言っている場合には、まずここをやってみて、それで他の所が対応できるのではないかという事を、方策として考えた方が良いのではないかというのがあります。これは市民の方の懇談会でも思ったのですが、県民の皆さんもわかっている訳です。お金が無くて3割に減っていますとか。造って欲しいという要望だけではなくて、例えば長府印内の所の話だと、信号機の接続だけで渋滞は緩和できるのではないか、造る造るではなくて、信号機のタイミングだけで、何とかなるのではないかという意見も出ていました。そのように、ただ造るという事ではなくて、皆さんは、道路を造れ造れといっても無理だという事はわかっておられる訳ですから。そういうソフト面からできる事も含めて、それから優先順位として基幹道路がうまくいけば、生活道路から車が無くなって安全になるという、何かそういうシミュレーションとか実験的な事とか、そういう事の道筋があればいいのではないかと思います。

#### ○進士座長

ありがとうございました。最初の先生のご質問については、確かに少し説明が長くて申し訳なかったと思います。後半の方の都市計画と道路計画の整合性というのは考えられると思います。大事なのは、並列して、この36ページの4つの柱は良いのですが、これが本当に全部できるのかというのが一番の質問だと思いますが、いかがですか。

#### ○事務局

委員からお話のあった、これ以外にも道路行政の中で取るべきものがあるのかというお話ですが、他にあるのかというと、全部この中に含まれている事になります。今後取るべき道路の方向性というか、それを総花的にというか全体的に網羅した格好で柱を立てております。なかなかこの優先順位、重点的な整備と言いながら、地域によって何が重要かという事は、それぞれの地域の皆さんのご意見や地域性もございまして、特にここに特化してという話になると、今の時点では、色を出すのは難しいと考えておりますので、今は総花的な格好で柱を立てさせて頂いております。そして実際事業を進めていく中で、この方策、方針の中で地域ごとに色がでてくるかと考えております。あと、方策の方で、今9つぶら下げしておりますが、4つの方針の中で当然、それ以外は渋滞対策に関しては、産業・地域を支えるだけではなくて、当然人々の命を守る中にも入るような、そのような再掲とかそういった格好で整理できるものだと考えて、我々もそう思っている訳ですが、代表というか特に重要な事でひとつずつぶらさげさせて頂いております。意識の中には切り離すものではなくて、どれも皆関連してきて、災害の部分で産業を維持する事もあるでしょうし、そういう事は十分承知しておりますが、代表的な取り組みという事で方策は再掲という形を取らずにひとつずつの項目でぶらさげしている所です。



### ○西川委員

老人クラブの西川です。沢山の目標が掲げられています。これがやりたいと思います、これをしていきます、何々をします、と。これは全部できるものなのか、できないのが殆どではないだろうか、そんな感じがしてくると同時に、以前の地図の中で、できていない所を赤線で塗ったならば、2年後5年後にはどのような所が解消されたのか、ここは確実に最初の素案のようにできあがりしました、ここもできあがりしましたという、簡単明瞭に見せて頂いた方が、私どもには良くわかると思うし、沢山掲げられているのは全部必要な事ですが、その中で、山口県の地域的に違う問題が出ているのなら、早くそこの土地の部署の人達と詰めながら、きちんと実現するようにもっていき、結果を知らせて欲しい。そうする事によって、今度県民と話をする中で、あの時言っていた事が少しでも解消されていたとか、そういう安心度が入ってくるのではないかと思います。いま何年も前から同じ事を言っていますが、結果的にどこが直ったのかがさっぱり、という声も聞いておりますので、細かくなさるのでしたら、県民にわかるような所の細かさもお願いしたいと思います。

### ○事務局

ありがとうございます。今、委員のおっしゃられたのが、評価指標のこの18項目の取り組んでいく数値目標として掲げております。我々としてはこの18項目について、本当にできるのかというお話から言いますと、まず着実に数字は上がっていくという風に考えております。面積カバー率とか視覚的にわかりやすいような、我々にも皆さんにも説明できるような格好でというお話がございました。今おおむね10年後の目標値という事で、面積で言えば、10年後にはこれくらい広がりますよというのは、視覚的にお示ししていきたい。当然目標年次が来ましたら、その目標に対してどういった状況、実績としてどういった事になったかを当然検証していかなければいけないと思っております。それはきちんと広報等を通じてお示しできると考えております。

### ○西川委員

ありがとうございます。

### ○田中委員

大体同じような意見ですが、これは計画ですから、これに基づいて、インフラ整備を進めていく事になりますので、必要なものについては、ある程度網羅的に書いておかないといけないという風な計画の性格があるのだらうと思います。そこは理解ができます。これまでの2~3の意見がありますように、じゃあ現行の道路計画と今回策定していこうとする計画と何がどう変わっているのか、あるいは大きな柱は変わらずに続けていくのか、計画の中のメリハリと言いますか、その辺りが明確に見えてこない、この計画はいったい何をどのように進めようとしているのか、どちらの方向に行こうとしているのかということがわからない。ここが今重点なのだという辺りが明確に出ればわかりやすいという気がします。もっと言えば、現行計画はどのような目標があってどこまで進捗していて、次の計画にどう引き継

いでいくのかとか、あるいは環境変化でこういう方向性がこういう形で出てきたとか、そのような事をご説明して頂ければ、多分あると思うのですが、少しわかりやすいという気がします。これは想像の話ですが。具体的には 18 ページの表の見方がわからないので、質問ですが、都市部の慢性的な渋滞という事で、一番上に図面の上に棒グラフの柱があるのですが、この高さは何を意味しているのかという事です。全体的な渋滞の程度、その辺りを示していると思うのですが。そこがまず 1 点。それと、この表を見ますと、一番厳しいのが下関地区という事で、それから周南地区等とそういう形になってはいますが、一部の方の意見ですからよくわかりませんが、岩国は、昔から道路事情が悪くて非常に厳しいという話をよく聞きますが、これを見る限りでは、岩国というよりも下関の方が厳しいという感じを受けるのですが、その辺りをご説明していただけたら有り難いです。それともう 1 点、下関の地区で柱がすごく高くなっていますが、このエリアからいうと、特に小月バイパスの辺りに見えるのですが、一番ひどいのは印内交差点だと思うのですが、そこが少しどうかと思うのですが、これは平成 25 年 1 月時点なので、こういう書き方になっているのか、小月バイパスが開通して効果が出ていると思うのですが、その辺り評価が違うのかなと、色々質問しましたがよろしくをお願いします。

#### ○事務局

まず 1 つめ、過去の取り組みから今回の新しい計画について、どのような所が変わってきているのかという事ですが、12 ページにこれまでの取り組みという事で、ジョイフルロード構想の時の数値目標と達成状況というのを、下のグラフに記載させて頂いております。ジョイフルロード構想の時には指標として 7 つ掲げていて、高速道路の延長とか圏域都市間 30 分アクセスできる県民の割合とか、インターチェンジ 30 分の人口の割合、そういったもので数値目標を掲げておりました。これについて、完了年度の時にはおおむね数値目標は達成されたという事になっております。今回新たに計画を作っておりますが、数値目標そのものは 18 とこれより大分多くなっております。このジョイフルロード構想の時に掲げた目標、これを踏まえて数値目標は設定してきております。ただ人口ベースでやってきておまして、ここで見て頂いてわかりますように、インターチェンジ 30 分圏域でアクセスできる県民の割合が、達成状況としても 96.1%という数字が挙がっております。人口ベースでいきますと、このまま整備しても、なかなか効果が上がって来ない、これからまた少子高齢化というか人口減少になるので、人口で取り扱っても無理があるかなという事で、広がり的なものを見せるには、整備された割合が面積で広がっていくというのを視覚的に整理された状況というのが、県民にとってわかりやすいのではという事で、面積で取り扱うというように今回は考えております。一番大きいのは、ここにある山口県の地域の課題というのが、先ほど図面の中で、60、61 ページにこれまでの整備されたものにお付けしておりますが、これから山陽側については概ねこの目標値は達成しているのですが、山陰それから中山間の道路整備が非常に重要な、山口県の大きな課題になってこようかと思っております。これらの地域の整備を確実に進めて行って、こういった着色部分が中山間地域にも広がっていくという事を目指して、整備を考えていきたいというように思っております。これが 1 つの特色になるのかと思っております。

それと、先ほど渋滞について18ページ、これは平成22年の交通センサスデータであり、最新のデータというのは、今年度が交通センサスの年になっていて、これはまだきちんと整理されておらず、先日現地の調査をしたばかりなので、どうしても最新のデータというのが平成22年になってしまいます。これを元に渋滞損失時間を整理させて頂いています。今色分けされていて、高さが渋滞損失で、横に凡例で書いてありますが、高いほど渋滞損失が高いという表現では書かせて頂いております。下関地域にとっては、何本も路線がある中で色が重なってしまっているの、見にくい部分になっているかと思っております。小月バイパスが部分的に4車線化されて、多少渋滞緩和されているのではないかとこの間もありますが、その4車線化は平成23年の部分供用ですので、データには反映されていないものになっております。今後見やすく工夫したいと思っております。

○田中委員

今回、新しい要素はあるのですか。

○事務局

今回の新しい要素というのが、維持管理の所に今後の老朽化対策とか、防災安全対策、災害に関しての災害に備えるという事で、防災安全系の所に力を入れていくという事で具体的な取り組みを厚くして入れております。

○小田委員

商工会議所連合会の小田でございます。道づくりの方策という事で、37ページに9つの方策、まさにこの通りかと思っております。商工会議所としても、産業というか経済関連という事でお話させて頂きますと、私も毎年県の方に道路整備等も含めまして要望を出させて頂いております。今年もカウントしたら28箇所の道路整備の要望を出させて頂いております。概要を申しますと、特に小さな都市というか、幹線道路へのアクセスと申しますか、萩、長門、柳井などは縦貫道、山陽道にアクセスが悪いという。それと都市間のアクセスの改善。それから渋滞の解消という事で、下関の話が出ましたが、北バイパスができて、交通の緩和はかなりされたという印象がありますので、今度のセンサスで赤い部分も少しは薄くなるのではないかと期待しております。やはりこれだけの9つの要素の整備というのは、私どもが考えましても、全部は県民のニーズに対応した整備ができるという予算が県にあるとは思っておりません。それでイメージとして、ピンと来ないと申しますか、道路整備は国、県、市もですが、県が整備されている道路の事業費が年間大体このくらい使っているのだよ、特に新設がこれくらい、改良がこれくらい、維持管理にこれくらいだよというように。後は国の補助というようなものもあるのでしょうか。全体的に道路整備については私も勉強不足ですが、山口県ではこのまま減少していくかもしれません、ニーズで言えば、全部やって下さいという事も言えないし、抽出、選択と申しますか、ここら辺りを重点的に整備してほしいという事も、産業界も地域の方も、ある程度絞って重点的に要望できるのではないかと申します。それと、3ページでしたか、これから5年間の整備計画期間というか、主な整備

箇所を示す計画を5年間の期間で作りますと。これは具体的にここら辺りを重点的に整備しますという落とし込みを示されるのか、それとも5年間かけてこの箇所を整備していこうという計画をまた具体的に作られるという意味なのか。そこがよく分かりませんでしたので、その辺を説明して頂けたらと思います。

#### ○事務局

最後の質問からですが、主な整備箇所という事で、県下8地域ごとで載せる事例とすれば、現在取り組んでいる事業はこういう事例がありますと、5年間で完了の目安があればお示ししたいと思いますが、先ほどの財源のお話もありましたが、色々精査しておりますので、今後お示しできる状況となれば改めてお知らせしたいとは思いますが、今後新たにに取り組んでいくという、今こういった事業をやっていますという部分で示していけたらと、主な事例とこういう事で考えております。あと、予算的な話で、24ページに今の道路関係予算という事で推移を書いておりますが、その内訳の中で、改築系がいくら、維持系がいくらと県の予算で示しております。先ほどの説明の中にもありましたが、平成8年度をピークにしてどんどん右肩下がりに減少して、ピーク時の3割ほどになってしまったという事で、近年見て頂くと平成24~25年頃くらいからは横ばい傾向で底打ちになっているのかなと思います。今後これ以上落ち込むことはないのではないかと推測ですが、そういう状況になっております。

#### ○小田委員

内訳はわかるのですか？

#### ○進士座長

ざっくりと%でいくと、何割とか。

#### ○事務局

ざっくりと、国が整備する国道の負担金が50億円くらい、維持管理が約100億円、交通安全・道路改良・新設等で約150億円、これくらいの内訳になっております。

#### ○村重委員

先ほどから色々こう総花的とか全部盛り込んでいるとかいう、そういう意見が出ていますが、総花的になるのは、こういう道路ビジョンでは仕方ないと思うのですが、2015年度に策定するという、ある程度の時代性というか、今は何が一番ポイントなのかという辺りを強調すると、多少その辺りがやわらぐかと。そういう面においては、例えばこれは今2015年で、これが10年先の2025年、平成37年までが対象となっておりますが、2025年という、2025年問題、要するに後期高齢者が全人口の2割以上になるという超超高齢化社会、それに備えて、例えば私が出た道路ミーティングの中にもありましたが、公共交通機関をもっと、特に山口県は公共交通機関が発達していないので、その導入を促すような道路整備みたいな意見が出ました。だからこの時代性を反映させた道路ビジョンというからには、そういう

2025年という超超高齢化社会に向けて、では道路整備をどうしていくのかをもっと強調して書き込むと時代性が出てくる。先ほど上位計画との整合性がどうなのかという話もありましたが、今地方創生が大きなテーマになって人口ビジョンとか山口県は作りましたが、その中で地域間ネットだとかコンパクトシティだとか色々概念的なものが出ていますので、それにこうして道路ビジョンはこうだというものを、もう少し強調すると、2015年に策定する道路ビジョンに時代性が出てくるのかと思います。それから、道路整備のビジョンですから、これを実際に計画に落とし込んでいく時に、予算を箇所付けしていく形になるのですが、そこで大事なのが、この道路行政の進め方にあるPDCAサイクルの導入云々と書いてありますが、やはり今まで道路予算付けする時に色々道路を造っても、牛しかいないという、特に山口県は中山間地域が多い特徴がありますが、中山間地域の、例えば災害対策で道路整備をしたが、その集落は消滅してしまった、10年先にはそういう事もこれから起きると思うので、その辺りを事業評価の充実だとかローカルルール適用とか色々あるのですが、この辺りを実際にどう考えていくのか。住んでいる人が少ないからといって、道路を造らなければ見捨てるような事になりますし、道路予算はどんどん減っているし人口も減っている。しかし災害の危険性はある。そういった時にどうやっていくのかという辺りの、ここに透明性だとか効率性と書いてありますが、では、どう具体的に担保していくのか、制度化していくのか、システム化していくのか、この辺りがもう少し知りたいと思いました。その2点と。あと、離合という言葉は共通語ではなく、西日本では離合と言うが、関東の人には多分通用しない。まあ山口県のビジョンなのでいいかとは思いますが。以上です。

○進士座長

一般的には、すれ違いと言えれば良いか。

○村重委員

そうなると思いますが、山口県のビジョンだから良いと思います。

○進士座長

他にご意見はございますか。

○松井委員

出前ミーティングとか県民の皆様には色々な意見が沢山あるので、実際に計画を策定するのに、このように盛りだくさんになるのはやむを得ないと思います。その中でやはり先ほどの皆さんの意見に似ているのですが、次の計画でどういった風に行くのだという重点だったり、あるいは評価指標でも先ほど言われたジョイフルドライブとかジョイフルウォークとか、そういった所から今回はこんな所を重点的に評価指標を加えたとか、前回と違って、こういう所をこうしたのですよという所を、わかりやすく表示できると、今からパブリックコメントされるのですが、そういう所で更に色々な人の評価を受けやすいような作り方をされると良いのではないかと思います。

### ○進士座長

色々な意見を頂きましたが、ざっくりとまとめると、多分メリハリというか、総花的すぎるという意見も出ておりますし、何をこの中から抽出していくのが良いかという事を考えて頂きたい。これはパブリックコメントも含めて最終的には決められるのだと思いますが。あと、10年間という事で、2025年のイメージを考えながらというのは、ご意見の通りですし、その中にもある人口減少の世界だという事と、高齢化をするという事を、どのようにこの計画の中に盛り込むというのかが、当然の意見としてはあると思います。前回のこれまでの県のキャッチフレーズ、目標が「県土1時間構想」という非常にわかりやすい、誰が聞いても「ああ、県内1時間で行けるようになるのか」と思うのですが。それに対して、今回は沢山柱があって、沢山目標があるので、そのうちどれができるのだろうと楽しみにして待つのですが。その辺はうまくメリハリをつけて目標にして頂けるかなと、という感じでよろしいでしょうか。という事なので、素案の中身に関してというよりは、全体に関して、こういう意見が出ているというイメージで良いかと思います。この文言を、この言葉はというのは、離合に関する意見はありますが、それは大した事はないと思います。それ以外はないけれど、全部やるのは大変だから、その辺はうまくパブリックコメント等するならば、それに合わせて整理頂ければというのが、委員会の意見ではないかと思いました。よろしいでしょうか？

### (3) 今後の進め方について

それでは、今回この意見をこの協議の中では、大きな指摘はなかったという風に思っております。という事であれば、これを受けまして、県民の皆さんにご意見を聞いたり、パブリックコメントをすると聞いております。その意見を聞いた上で、改めて修正をして、3回目の懇談会を開催すると聞いております。ということで、意見を聞いて、パブリックコメントを実施した上で、再度計画を策定するという事でよろしいでしょうか？

私は事務局に、これは余計な話ですが、山口県でなくても通じるのではないかと言った覚えがある。これは別に、広島県でも島根県でもいいじゃないかと思っただけなので。その辺は山口県の特徴を踏まえた上で出てくると思って期待しておりますので、よろしく願います。ということで、パブリックコメントに関しては、これくらいのアナウンスでよろしいでしょうか？やりますという事で？

### ○事務局

はい。今色々な意見を頂いた内容を精査して、準備ができ次第パブコメの手続きに入っていきたいと思っております。パブコメをする段階になったら、また委員さんの方にはお知らせ致しまして、パブコメするように致します。その時はよろしくお願い致します。

### ○進士座長

そういう事であれば、パブリックコメントが入りまして、その後第3回目の懇談会を開いて、パブコメでこういう意見を頂いたので、最終的にどういう案にするかというのを、また

ここで吟味して、最終的な案、協議会の案としたいと思います。それでは、本日の議事はこれで終わりでしょうか？

それでは本日の議事はすべて終了致します。事務局の方から何か。

○事務局

資料6について、補足になりますが、議事録の内容を確認して頂いて、お気づきの点があれば、後日でも結構ですので、事務局の方にご連絡頂けると助かります。

○進士座長

資料6に関してはそういうことです。それと、資料5をごらん下さい。今私が申しました通りで、パブリックコメントをかけた時点で第3回の道路懇談会を開催して、そこで最終的な山口県の道路整備計画の策定ということで進めます。

○事務局

委員の方々には、本日は本当に貴重な御意見を頂きましてありがとうございました。今後、今頂きました御意見を踏まえまして、また財政状況等の精査もございまして、若干時間がかかるようにも思いますので、当初6月の時には年度内にとっておりましたが、若干ずれ込む可能性も視野に入れながら、メリハリと申しますか強調と申しますか、それと、他との違いみたいなものを出していけたらいいなと考えています。どうも、今日はありがとうございました。

○司会

進士座長さま、どうもありがとうございました。また、委員の皆様には、活発な御議論、貴重な御意見をいただき、ありがとうございました。

以上を持ちまして、山口県道路懇談会（第2回）を閉会いたします。皆様、本日は大変お疲れさまでした。

16:00分 開会